

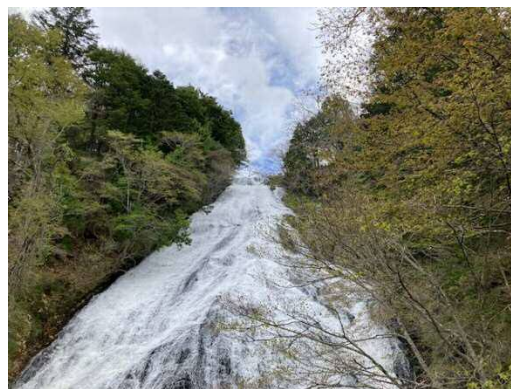
保護者の皆様・地域の皆様へ

5月も中旬を終え、木々の緑もその濃さを増してきました。昨日で、全学年が1学期の授業参観を終了することができました。教室が密な状態になることを避けるため、学年を二分割した上で、A～Dの4グループに分け、各学年2日間、4回に分散しての開催としました。日程調整等、御不便をおかけした点もあると思いますが、保護者のみなさまの御協力により、落ち着いた環境の中でお子さんの学習の様子を御覧いただくことが出来ました。有難うございました。

また、17日(月)～18日(火)には、6年生の修学旅行を計画通り実施することが出来ました。天候が心配される中でしたが、傘を差したのは最後の見学地の東照宮だけでした。感染症対策に万全を期し、静かな雰囲気の旅となりましたが、その中でも子どもたちはしっかりと思い出をつくり、充実した表情で帰って来ることが出来ました。

さて、今月1日に20歳の誕生日を迎えたさいたま市の特徴の一つは、子どもの読書を大切にしていることです。10年以上前から市立小・中学校への学校図書館司書の配置や図書検索専用のパソコンが配備するとともに、「さいたま市『心を潤すこの一冊』子ども100選」リストや定番児童書リスト「あえるといいね!すてき本」を発行して、児童生徒への読書案内を充実させてきました。

この度「さいたま市子ども読書活動推進計画」(第四次)を策定して、さらに読書好きの児童生徒の育成を図ることとなりました。その目玉の一つが「さいたま市子ども読書の日」の創設です。毎月23日がその日となります。今月は日曜日。久々の晴れマークの予報ですから、お日様の光を浴びた後に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



5月20日 校長 三村 悟